



堺市議会議員 / 大阪維新の会堺市議会議員団

水ノ上なるあき

公認会計士・税理士、剣道錬士7段

- 昭和38年5月 堺市生まれ ● 花田口聖母幼稚園 ● 三国丘小学校 ● 三国丘中学校 ● 清風南海高校
- 中央大学経済学部 卒業 ● 監査法人トーマツを経て、水ノ上公認会計士・税理士事務所 所長
- 平成15年4月堺市議会議員初当選、現在4期目、第80代議長 ● 剣道錬士7段 現役(少年剣道の指導にあたる)

ご挨拶



平成30年を健やかに迎えたことと存じます。今年(つちのえいぬ)の年でよくも悪くも大きな変化の年と言われています。今年に入って国の内外で大きな変化を予感されるような事柄があり、特に安全保障上予断を許さない状況にあります。

一方、大阪は橋下知事、大阪市長時代に続く松井知事、吉村大阪市長時代に入り、大阪府市の二重行政の弊害が緩和されることにより改革が確実に進められ、大阪の成長が地についてきました。万博の誘致、IRの立地、地下鉄や鉄道の延伸など、10年、15年前に比べて確実に良くなっています。このような状況の中、堺市の成長をどのように進めて行くのかが大きな課題です。

堺市は大きな変化に対応できるのか？

昨年行われた堺市長選挙では現職市長が3期目の当選を果たしました。堺市民の皆様は新市長の下での変革を選択されませんでした。現職市長を応援したのは様々な既得権益団体、自民党、共産党、民進党などまさしく野合談合の相乗り政治であり、改革や変革は望めず、今後予想される堺市を取り巻くドラスティックな変化に対応できるとは思えません。

私は平成15年堺市議会議員初当選以来平成30年で15年目を迎えます。この間皆様方には多大なるご支援を頂きましたことに感謝するとともに、堺市長選挙において大阪維新の会を応援頂いた14万人の堺市民の皆様への期待に応え、大きく変化する時代に、堺市政の発展、市民福祉の充実のために議会での議論を充実させ、邁進してまいりたいと思います。

4期15年 主な役職

- 平成23年度 文教委員会 委員長
大都市行財政制度調査特別委員会 副委員長
- 平成24年度 議会運営委員会 副委員長
- 平成24・25年度 堺市監査委員
- 平成25年度 総務財政委員会 副委員長
- 平成26年度 堺市議会 副議長 (第84代)
- 平成27年度 堺市議会 議長 (第80代)
- 平成29年度 総務財政委員会 委員長

平成29年の議会を振り返って 大阪維新の会の身を切る改革

議員報酬20%削減条例を提案するも否決される。議員報酬の一部を受け取らず、大阪維新の会市議団は熊本市に震災復興のため総額1400万円を寄付。

我々大阪維新の会は改革を進めるためには、まず自らの身を切る改革を行うことから始めることを第一に考え、平成29年5月議会に引き続き12月議会においても20%の議員報酬の削減を訴え、報酬削減条例案を提案しました。

何故20%削減が必要か？それは次の表を見てもらえると明かです。

最近政令指定都市となった市の議員報酬比較				
	政令指定都市昇格年	人口	定数	議員月額報酬
静岡市	平成17年	70万人	48人	663,000円
堺市	平成18年	83万5千人	48人	780,000円
浜松市	平成19年	80万7千人	46人	648,000円
新潟市	平成19年	79万6千人	51人	655,000円
岡山市	平成21年	72万1千人	46人	710,000円
相模原市	平成22年	72万2千人	46人	670,000円
熊本市	平成24年	74万人	48人	674,000円



堺市と前後して政令指定都市となった静岡市、浜松市、新潟市、岡山市、相模原市、熊本市と比べて堺市の議員報酬が10万円以上高いことがわかります。下げて当然です。ですから平成29年5月議会及び12月議会でも20%の議員報酬削減条例を提案いたしましたが自民党、公明党、ソレイユ堺、共産党などの反対で否決されました。

我々は報酬削減条例を提出した限りは否決されても有言実行を貫くため、7月以降20%削減した場合の手取りの減額分約10万円を毎月受取拒否し法務局に供託しています。供託しているだけではお金が生かされないため、毎年年末には供託をしたお金をまとめて災害を受けた都市に寄付をすることを決め、7月から11月分について総額714万円を熊本市へ災害復興のための義援金として寄付いたしました。

平成28年度からの熊本市への震災復興のための寄付金の合計は1400万になります。

我々はこれからも身を切る改革として粘り強く議員報酬の削減を訴えてまいります。



議員年金の復活に反対!!

平成23年に地方議会議員の年金制度は議員数の大幅減少により、年金制度が維持できなくなったため廃止されました。しかし自民党を中心に議員の処遇を改善するため議員年金の復活が進められています。

このような動きをけん制するために大阪維新の会は「地方議会議員年金制度の復活に反対する意見書」を12月議会に提案しましたが、自民党、公明党、ソレイユ堺などの反対により否決されました。

平成31年10月には消費税が8%から10%に増税されます。また、現在開会されています通常国会で審議される、昨年の12月に出された自民党、公明党の平成30年の

税制改正大綱によれば約3000億円の増税が見込まれています。明らかに国民に負担を

強いる増税路線です。このような中、現在自民党等の案では地方議員も自治体職員と同じく厚生年金に加入する年金制度の構築を模索していますが、地方自治体の負担ひいては市民の皆様の負担が増すのは避けられません。

このように国民に増税を課しておきながら議員報酬は減らさず、議員年金は市民の負担の上で復活するなど、議員の厚遇という態度には断固反対して参ります。



世界文化遺産登録(百舌鳥古市古墳群)



百舌鳥古市古墳群の世界文化遺産登録が昨年の7月国内推薦を受けたことにより大きく前進しました。平成31年夏の世界文化遺産登録の可能性が高くなりました。

世界文化遺産登録に反対するものではありませんが、堺市の今の進め方には疑問を持っています。

それは、天皇陵を単なる遺跡としか扱っておらず、観光目的が優先されており、そこに世界に誇る有機的な歴史を内外に発信するという思いが見えません。

右の系図を見ていただいたらわかるように百舌鳥古市古墳群には10の天皇陵があり、堺の大鳥大社の御祭神である日本武尊(ヤマトタケルノミコト)の白鳥陵から始まる約300年の歴史があります

百舌鳥古市古墳群が世界文化遺産に登録されれば、世界中の人々はどんな興味を持ってこの地を訪れるのでしょうか?どんな天皇が陵に埋葬されているのか?世界最大級の陵墓に眠る仁徳天皇や応神天皇、履中天皇はどんな天皇だったのか知りたいのではないのでしょうか?しかし堺市は何故か、天皇の功績を発信することに積極的ではありません。尊皇の気持ちがるで感じられません。

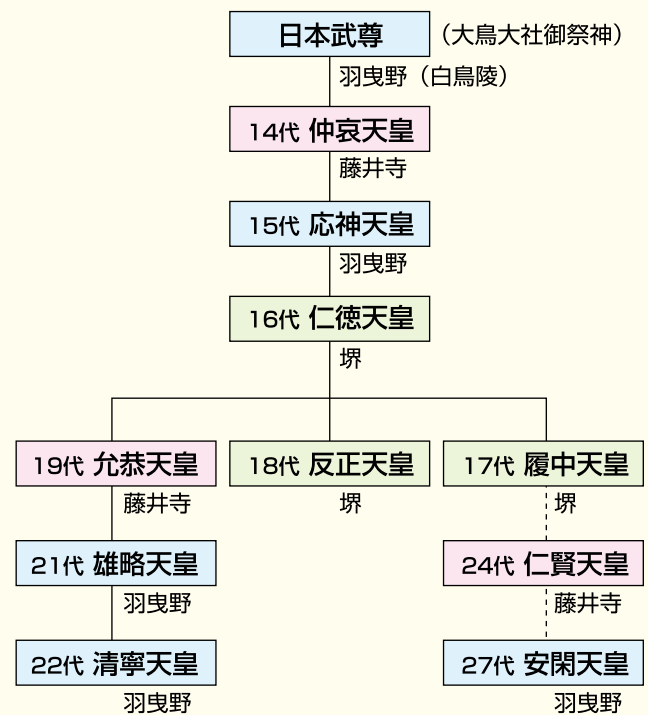
仁徳天皇の「民のかまど」の話は世界に誇る逸話ですし、ヤマトタケルの活躍、倭の五王の活躍など、古事記、日本書紀を元に日本の豊かな古代史を通じて日本の国柄を世界の人々に理解してもらう絶好の機会です。

今のままでは単なる観光名所を作り国内外からの観光客を当て込んでようにしか見えません。これでは世界文化遺産に登録する意味がありません。

ガイドンス施設は必要か?

さらに仁徳天皇陵隣地に作られようとしているガイドンス施設。土地の購入費用の13億円はすでに支出されており、さらに建築費用や展示費用などで約30億円の支出が見込まれます。又、維持管理費用も年間2億円以上かかります。これはすべて市民の税金です。これだけの税金をかけてガイドンス施設を建設する必要があるのか?現在の堺市博物館の建て増しなど有効利用で対応できないのか検討が必要です。維新の会はこのガイドンス施設の建設には反対しています。

百舌鳥古市古墳群の天皇陵



中心市街地 堺東駅前の開発



堺東駅前には政令指定都市堺市の玄関口です。しかし、政令指定都市20市の中で最も見すばらしい玄関口と言っても過言ではありません。いや中核市でも堺東よりもっと整備された玄関口をもつ都市が多数あります。

かつて進めていた堺東再開発計画を竹山市長がつぶして8年。竹山市政には未だに堺東駅を中心とする30年後50年後を見据えた中心市街地開発のランドデザインがありません。

竹山市長は公約で「堺東フェニックス計画」というものを打ち出していますが、議会の答弁では今のところ具体的な中身は全く検討されていません。



堺東駅前の一等地に立つ博愛ビル(写真)の建て替えを堺市のランドマークにしようと言っていました。蓋を開けてみればビジネスホテルの建設が決まりました。ビジネスホテルが堺のランドマーク? また、今はもう取り壊されましたがジョルノビルの跡地は若干の商業施設はあるものの高層マンションが建設される予定です。

明確なランドデザインの中でこのような施設が建設されるのではなく、行き当たりばったりの街づくりが竹山市政の特徴です。約150億円の巨費をかけて建設中の堺市民芸術文化ホールにすぐそばに大型のパチンコ店が出店されることが決まったというようなチグハグさも露呈しているように、このような街づくりでは堺の顔が作れません。すべてが後手に回っています。

竹山市長は街の賑わいを創出するために回遊性を高めるとは言いますが、駅前の高層マンションは堺市の中で人口が移動するだけにすぎず、駅前の一等地にビジネスホテルを建てても人々の回遊は限定的です。竹山市長が打ち上げた「堺東フェニックス計画」が、街づくりのランドデザインとなるのかどうか、堺市の中心市街地の活性化の為にしっかりと議論していきます。

阪堺線を守ろう!!

平成22年当時、阪堺線の堺区間は年間約3億4000万の赤字でした。

このままでは阪堺線の堺区間は廃線を余儀なくされるため阪堺電気軌道(株)は堺市に援助を求め、竹山市長は平成23年から平成32年の10年間で総額50億円の補助金を援助する政策をとりました。その50億円で2区間の運賃290円が1区間運賃210円に値下げされ、新型低床車両(LRV・1輛当たり約2億5千万円)3両が導入され、また新駅の建設や、路面改修等を行った結果、赤字の幅は約2億円までに縮小されましたが、下表のように、阪堺線の堺区間は毎年赤字を計上。ただ2億円の赤字については堺市が補填しているため経営的には収支は均衡しています。

■阪堺電気軌道収支(堺市内区間) 単位:百万円

	営業収益	営業費用	営業損益
平成21年	1,205	1,544	-339
平成22年	1,208	1,453	-245
平成23年	1,229	1,514	-285
平成24年	1,216	1,536	-320
平成25年	1,227	1,473	-246
平成26年	1,238	1,445	-207
平成27年	1,273	1,461	-188
平成28年	1,248	1,446	-198



その補助金も平成32年には終了し、それ以降の補助金は打ち切ると竹山市長は明確に答弁しています。一方、南海本線の連続立体交差の影響によって船尾駅から浜寺駅前駅が7~8年間不通になることも明らか。補助金の打ち切りによって乗車運賃も値戻りし利用者が減少するのは確実です。

その結果、2億円の赤字が32年以後は増加し経営が悪化しふたたび廃線の危機が訪れるのは間違いありません。廃線の危機を乗り越え、阪堺線を守るためには堺駅、堺東駅間の東西へ軌道を延伸し乗客の増加を図るしかありません。

大阪維新の会は強く訴えています。竹山市長は感心を示しません。阪堺線の存続は風前の灯。市民の皆さんと共に声を上げていきたいと思えます。

さかい利晶の杜

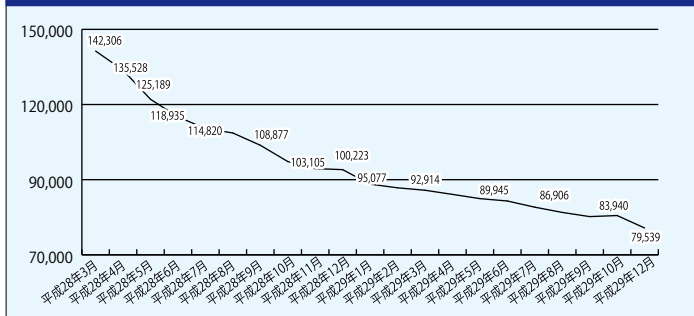


来館者数の増加は、大阪観光局などの他の機関との連携が鍵!!

平成28年3月にオープンした竹山市長肝いりの観光施設「さかい利晶の杜」。広報さかい2月号でも竹山市長から昨年11月には来館者100万人を超えたコメントされていますが、カウントの仕方に問題があり、来館者100万人というのは全くのでたらめ。実際の来館者数は把握できておらず、虚勢をはった数字と言っても過言ではありません。当初は物珍しさもあり来館者数も多かったが現在に至り激減しています。

下のグラフは有料入館者数の年計表ですが減少の一途をたどっているのは明らか。管理は民間の会社が行っていますが、年間2億1千万円の管理料で委託されているながら赤字に転落しています。

利晶の杜 有料入場者数 年計表 (単位:人)



昨年の市長選挙時、永藤候補が大阪城の観光客は平成28年度255万人を突破し、うち半数は外国人観光客であるから、大阪城及び豊臣秀吉と千利休は深い関係があるので、大阪観光局と連携して観光客を誘致すればよいと提案していましたが、豊臣秀吉が大嫌いな竹山市長は全く興味を示さない。豊臣秀吉は大阪を繁栄させた英雄だと私は思うのですが...

昨年大阪に観光に来た外国人は1111万人と過去最高を更新。5年前の約7倍になっています。現場では集客を伸ばすために様々な試みが行われていますが、「さかい利晶の杜」だけでは観光客は増えないのが実情。大阪市のみならず様々な方面と連携し観光を通じて堺の活性化を図るための提案をしていきます。

子供たちに正しい歴史教育を...



▼産経新聞平成29年12月14日朝刊



昨年の12月に大阪市は米国のサンフランシスコ市と姉妹都市の解消を決定した。

サンフランシスコ市が慰安婦像と慰安婦を「性奴隷」と記した碑文を公共の場所に設置し吉村市長が撤去を求めたことに対してサンフランシスコ市が撤去しなかった為だ。私は吉村市長のこの方針に全面的に賛同する。

旧軍による慰安婦の強制連行や性奴隷扱いは全く史実に基づかないのは今や明らかであり、日本の誇りを傷つける行為である。我々の同世代ではこの吉村市長の決定に賛同する方が多いが、一方中学生、高校生などは全く関心を持っていない様だ。自分たちの国がいわれなき汚名を着せられているのにそれに対して正しい知識を持たず、反論する言葉も持ち合わせていない。私は教育の怠慢がここに表れていると思う。

日本の教育現場では従軍慰安婦の強制連行や南京大虐殺など、今では史実に基づかないと明らかになっているにもかかわらず、子供たちにその事実を教えない。

これから世界に羽ばたく子供たちは、世界のどこに行っても、間違った歴史観を展開する外国人に対して堂々と反論するだけの知識を持つべきだ。私は堺市でも中学校の歴史教育において我が国の歴史に誇りを持つような教育を実施するよう訴えていきたい。



市政報告会 次回→H30.4/15(日)

浜寺三光会館

堺市議会では年4回定例会が開催されています。市議会でのどのような議論が行われているか皆様に知っていただくために適時市政報告会を開催しています。



日本維新の会の幹事長馬場伸幸衆議院議員、高木かおり参議院議員にも参加いただくこともあり国政報告や国会議員から見た堺市政を報告して頂いています。



次回は平成30年4月15日(日)午後6時から浜寺三光会館におきまして開催いたします。

平成30年度予算案がどのように審議されたのか詳しくご報告しますのでお時間がある方は是非ご参加ください。

後援会入会のご案内

水ノ上成彰事務所では水ノ上成彰の思想信条や政治活動にご賛同いただける方の後援会入会を進めております。電話・FAX・メールでお問い合わせください。



ポスター
掲示の
お願い



新しいポスターが出来上がりました。掲示してくださる方はご一報ください。宜しくお願いします。